

企業紹介

酒造から食品業界全般へ、
より高品質な製品をお届けします。



新洋技研工業株式会社
Manufacturing SHINYO GIKEN KOGYO Co.,Ltd

代表取締役社長 大辻 節子
〒950-1241 新潟市南区下塩俵1463-1
TEL 025-362-1611 FAX 025-362-1616
E-mail:info30@shinyo.co.jp
URL:www.shinyo.co.jp/

業 種：製造業
資 本 金：6,900万円
事業内容：温度制御工事及びサーマルタンク製造販売
ほか

醸造用タンクなど温度制御装置の製造を通して、酒造業界はじめ食品製造分野を支え続けてきた新洋技研工業(株)。タンクと冷却装置を一体化させた冷却装置付タンク「サーマルタンクシリーズ」は全国各地で合計4000基以上が納入されており、お客さまから絶大な支持を得ている。

親子2代で受け継がれる思い

先代社長の大辻英郎氏(現取締役会長)は断熱工事を行う会社に勤務していた当時、酒蔵などを訪れ、空調関係や温度制御設備の将来性に注目。その分野に事業を拡大させ、成功を納めた後、昭和52年に独立し、同社を設立した。その後、主力商品の「サーマルタンク」開発に取り組み、昭和60年には第1号の製品を納入。同社の主力商品として、今日に至るまで、全国各地で納入実績を積み上げ続けてきた。その温度制御技術は、お客さまから絶大な支持を得ている。

平成17年、代表取締役社長は大辻節子氏に引き継がれたが、「酒造・食品設備を通してお客さまの事業繁栄を支え続けたい」との思いは、創業以来、一貫して変わることはない。



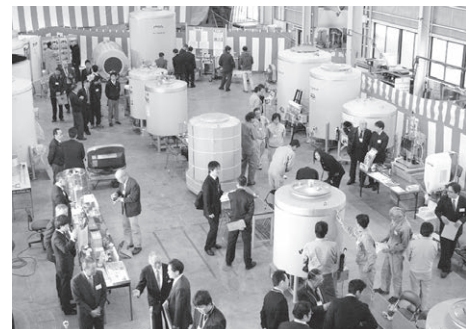
▲主力商品の「サーマルタンク」

主力商品「サーマルタンク」

同社の主力商品「サーマルタンク」はタンクと冷却装置を一体化させた冷却装置付タンクである。醸造において欠かせない温度制御を容易にし、食品製造分野で働く人々の大きな手助けとなってきた。

その高い知名度から、「冷却装置付タンク=サーマルタンク」として酒造業界においては一般名称化しているが、「サーマルタンク」は同社の登録商標である。

近年、日本酒業界で人気の吟醸酒。しかし、その製法である「吟醸造り」は温度制御が難しいとされ、なかなか普及に至らなかった。吟醸酒がいま、手軽に楽しめるのも、同社の温度制御の技術が大きく貢献している。



▲同社で行われた商品展示会

目指すは、日本の醸造文化を守る立役者

同社は、「サーマルタンク」以外にも、会長の空調理論を基にした「ステンレスパネル麹室こうじむろ」(麹の生育のために使われる室)や、タンクで加熱殺菌した清酒を急速に、かつ安全に冷却する新しい急冷システム「簡易型火入酒急冷装置」など、様々な製品を開発している。

「いかに、お客さまのためとなる提案を行い、役立つことができるかが大切と思っています。」と大辻社長は語る。

同社の高い技術は、お客さまの役に立つために努力し続けてきた証に他ならない。「高品質の醸造製品造りの環境を提供し、日本の醸造文化を守る立役者」を目指し、同社は挑戦を続ける。



▲大辻社長(左3番目)と社員の方々